

# 研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<b>AI 解析を用いた新規の術後吐気嘔吐リスク分類の確立のための後方視的研究</b>	
<b>1．研究の対象および研究対象期間</b>	2020年1月1日から2023年4月1日に昭和大学歯科病院で全身麻酔下での治療を行った患者さん
<b>2．研究目的・方法</b>	全身麻酔の術後合併症で最も頻発するものは術後の吐き気、嘔吐(PONV)です。これらの予測因子としてもっとも有名なものは Apfel らが研究、発表した Apfel-score であり、非常に簡易的で臨床で広く利用されています。しかし、実際にはある程度の大雑把な指標であり、PONV の発生を正確に予測できるわけではなく、また、正確に予防が出来るわけではないのが現状です。近年、AI 技術の発達により多くの目的変数を一度に予測することが可能になり、また複数の目的変数を同時に満たす条件が探索可能になってきています。今回の目的は、PONV 発生因子を特定する学習を行った AI を作成する事です。
<b>3．研究期間</b>	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
<b>4．研究に用いる試料・情報の種類</b>	電子カルテに保存された身長、体重といった患者属性情報。 全身麻酔記録に保存された、薬剤の種類、量、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、使用した器具。
<b>5．外部への試料・情報の提供</b>	該当しません。
<b>6．研究組織</b>	研究責任者      研究機関名   昭和大学   歯科病院   歯科麻酔科   立川   哲史

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学歯科病院 全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門 氏名：立川 哲史

住所： 東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号： 07064062563